



特集

1. 第13回通常総会
2. 水稻の状況
3. 小麦
4. 大豆生産
5. 集落営農法人協議会記念式典
6. 今後の予定

ひとりごと

このところ滋賀県ゆかりの作家の小説が脚光を浴びている。今村翔吾さんの時代小説、風良ゆうさん、そして今年の「本屋大賞」の宮島三奈さんである。特に宮島さんの「成瀬は天下を取りに行く」は大津市が舞台になっており、たいへん興味深い。電子書籍の影響で最近書店に行くことが少なくなったが、時折り近郊スーパーの横にある書店を覗き、文庫本や新刊書を立ち読みして買い求めている。電子書籍では味わえない発見が、実際に本を手にとることによって得るものがあるようにも思える。久



第13回通常総会開催

令和6年2月18日(日)に令和5年度の第13回通常総会において、提案の全6議案は議案書どおり承認可決され、次期の執行部に無事に引継がれました。

運営委員会組織図

代表理事	大村吉継	監事	成宮克美
副代表理事	藤野隆司	監事	山本長孝
理事	松村庄之丞	総務部門	伊関健治
理事	青木洋	販売・施設管理部門	薩摩敬造
理事	青木祐樹	生産・資材管理部門	薩摩乃史
理事	鹿島能孝	労務・機械管理部門	鵜野勝彦
顧問	辻野久和		

よろしく
お願い
します!



水稻の状況

令和5年産の水稻は事業報告の通り、出穂期の高温障害などの複合的な要因で前年比-0.5俵/反となりましたが、近隣の担い手農家の-3俵/反に比べ安定していた。販売価格の上昇も収益に寄与しており、安定的な経営を維持する事ができた。令和6年度も4月22日から「みずかがみ」の田植えに始まり5月中旬の「きぬむすめ」まで忙しく作業が続きます。

小麦

令和5年11月上旬に播種した「ふくさやか」も順調に生育しており、2月下旬には穂肥施用、4月下旬から2回にわたっての防除作業も無事に終了しており、麦秋の6月上旬には予定通り収穫作業ができると思われます。

大豆生産

令和5年度の大豆生産量は今までで最高の収量となりました。従来の「タマホマレ」から「ことゆたかA1」に品種変更を実施。また、除草剤を体系的に見直した結果、例年悩まされてきた雑草対策が有効に作用してきれいな圃場を保つ事が出来ました。増収増益に大きく貢献!!

※223.7 kg/反 (前年実績 196.3 kg/反)

湖東地域集落営農法人協議会 10周年

令和6年1月20日に「湖東地域集落営農法人協議会 10周年記念式典」が多賀大社「参集殿」で開催されました。農水省、県、近隣市町村の来賓やJA 東びわこ、集落営農法人の代表等が参加、基調講演や今後の農業施策について意見交換が行われました。特に、農水省担当者の講演では、今後の課題として「オーガニック農産物」へのシフトが強調されており、従前からの生産方法では大きな影響を受けることが予想されます。

【今後の予定】

- 5月中旬～「キヌヒカリ・きぬむすめ」田植え
- 5月下旬～中期除草剤散布
- 6月上旬～小麦の収穫作業
- 6月中旬～大豆生産工程

